

# 第84期 株主通信

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



Produce  
The Future

株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第84期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長

中島浩二



## 第84期の業績

当期におけるわが国経済は、金融緩和や政府の経済政策への期待感を背景に景気は緩やかに回復しつつあるものの、円安による原材料価格の上昇に加えて、欧州景気の回復の遅れや、新興国経済の減速による海外景気の下振れ懸念などから、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当期業績は、海外売上高が増加しましたので、売上高は前期比27,809百万円、21.3%増収の158,495百万円となりました。売上総利益は、前期比775百万円、5.8%増益の14,246百万円、営業利益は、前期比208百万円、14.3%増益の1,666百万円、経常利益は、前

期比80百万円、6.2%増益の1,371百万円、当期純利益は、前期比108百万円、11.8%増益の1,024百万円となりました。

### 第84期業績

売上高	158,495百万円	前期比	21.3%
営業利益	1,666百万円	前期比	14.3%
経常利益	1,371百万円	前期比	6.2%
当期純利益	1,024百万円	前期比	11.8%

## 次期の見通し

今後の経営環境につきましては、景気は回復基調にありますが、米国の金融緩和縮小や新興国経済の減速、更には消費増税の影響などから、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

こうした状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大を重点施策とし、各事業の採算とリスクの管理を徹底することで、収益基盤の強化を図るとともに、財務体質の改善を進めてまいります。

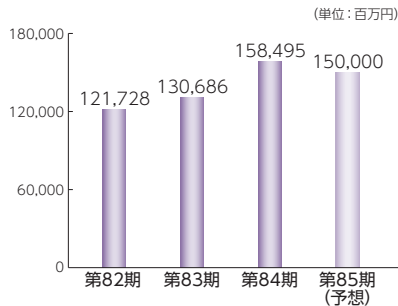
なお、ナノテクノロジー事業は、早期の収益化に向け、塗料、燃料電池、複合材料の3分野に絞りこみ、経営資源を投入いたします。

### 第85期業績予想

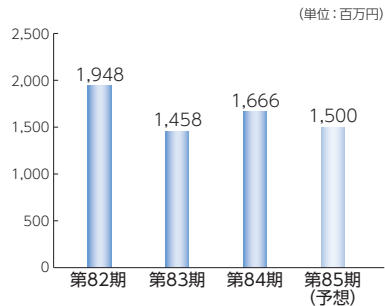
売上高	150,000百万円
営業利益	1,500百万円
経常利益	1,200百万円
当期純利益	1,000百万円

## 業績の推移(連結)

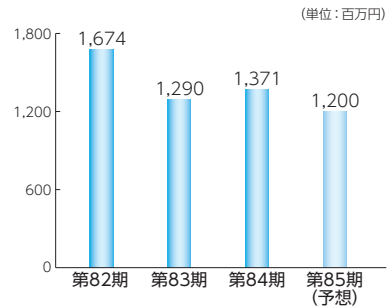
### 売上高



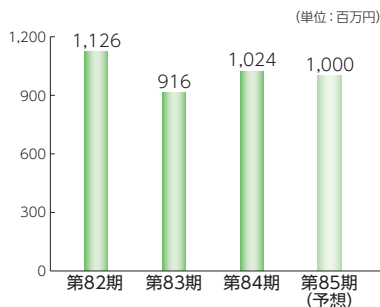
### 営業利益



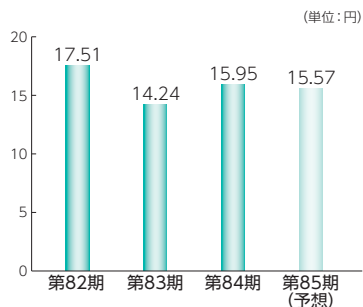
### 経常利益



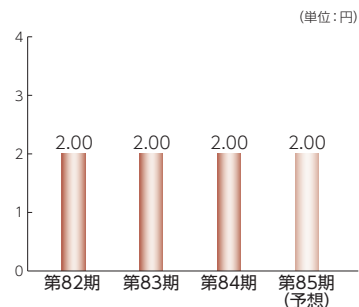
### 当期純利益



### 1株当たり当期純利益



### 配当金



## セグメント別概況

### 繊維事業

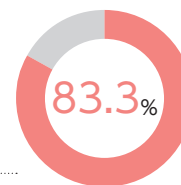
#### 主要商品：

繊維原料、テキスタイル、  
レッグ・インナー・  
アウターウェア 他

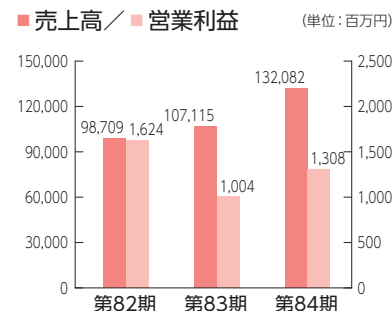


売上高	132,082百万円	
前期比		23.3%
営業利益	1,308百万円	
前期比		30.3%

#### 売上構成比



- アジアにおける機能性の高いインナー用の原糸および生地が取引が、大幅に伸長しました。企画提案型の婦人ファンデーションやインナー製品のOEM取引は、円安等による生産コスト上昇により採算が悪化しました。インナー・雑貨の小売展開は、販売が伸びず苦戦しました。
- アウター用の生地輸出は、米国を筆頭に欧州やアジア向けが増加するとともに、円安により採算が好転しました。また、アウター製品のOEM取引もレディースやアウトドア向けが伸長しました。



### 工業製品事業

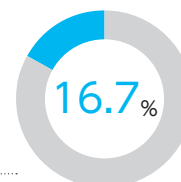
#### 主要商品：

化学品、機械装置・資材、  
ホビー・生活関連品 他

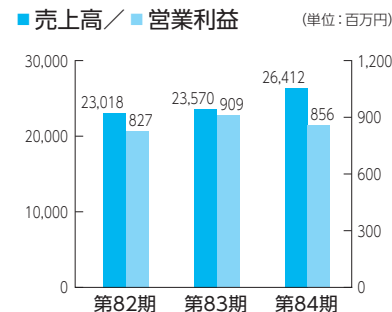


売上高	26,412百万円	
前期比		12.1%
営業利益	856百万円	
前期比		△ 5.8%

#### 売上構成比



- 塗料・樹脂の硬化用添加剤は、欧米やアジア向け輸出が好調に推移するとともに、米国における半導体用途の化学製品も、円安により売上が増加しました。一方、フィルムは、前年並みとなり、機械は、大型複合材成形機の取り扱いが減少しました。また、半導体の部材、理化学機器や化粧品原料などの輸入品は、円安の影響により利益率が低下しました。
- ホビー関連商品は、塗装用器具が減少しましたが、プラモデル用塗料の輸出と新商品が寄与した水性塗料が増加しました。



## ■国際スポーツ用品専門見本市「ISPO」にスポーツ・アウトドアウェアを出展 —欧米メーカーへのODM供給を目指して—

当社は、本年1月にドイツ・ミュンヘンで開催された世界最大級の国際スポーツ用品専門見本市「ISPO」において、スポーツ・アウトドアウェアを出展しました。

この見本市には、スポーツやアウトドアに最適な着圧、保温性や筋肉・関節へのサポート力など、着心地の良さと運動機能性の高さを追求し、欧米で評価が高い日本製の機能性化合物織生地を、人体工学や運動生理学にもとづいて裁断・縫製・特殊加工を施した製品を展示しました。来展者の反応は上々で、新時代のウェアをイメージし「NANOGRAF」と冠してスタイリッシュに演出した展示品やパンフレットも好評を博しました。

今後は、欧米の大手スポーツ・アウトドアメーカーをターゲットに、素材の機能に当社の企画力を付加することで、ODM（相手先ブランドの企画・製造）での供給に取り組んでまいります。



「ISPO」出展の様子

## ■水性模型用塗料「水性カラー アクリジョン」を発売 —安全性と環境に配慮した塗料を開発—

当社は、Mr. HOBBYブランドの新製品として、水性模型用塗料「水性カラー アクリジョン」を昨年12月に発売しました。

この商品の大きな特長は、有機溶剤の使用量を約80%削減（従来の当社水性塗料比）するとともに、臭いも抑えたことから、周囲を気にすることなく安心・安全にお使いいただけるようになったことです。



木を材料とするホビークラフトへの塗装の様子

また、水性でありながら、当社溶剤系塗料とほぼ同等の塗膜強度と速乾性を有していますので、溶剤系塗料を使用しているユーザーにも満足していただけるものとなっています。

「非危険物（注）」扱いで、木・紙・粘土・石膏・発泡スチロール等のホビークラフト材料全般にも使用することができることから、工作、工芸や手芸用途など、模型以外の販路の開拓も目指してまいります。

（注）消防法に定める「危険物」に該当しないもの。



水性カラー  
アクリジョン

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期	
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在	
資産の部	流動資産	54,769	48,283
	固定資産	12,060	11,623
	有形固定資産	5,414	5,446
	無形固定資産	974	553
	投資その他の資産	5,671	5,624
資産合計	66,829	59,906	
負債の部	流動負債	48,913	42,727
	固定負債	3,123	4,178
負債合計	52,036	46,906	
純資産の部	株主資本	14,793	13,903
	その他の包括利益累計額	△50	△952
	少数株主持分	49	49
純資産合計	14,792	13,000	
負債純資産合計	66,829	59,906	

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

売上債権や商品の増加により、前期末比6,923百万円の増加

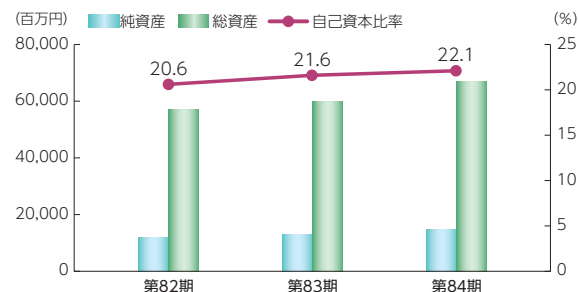
負債

借入金の減少等がありましたが、仕入債務の増加等により、前期末比5,130百万円の増加

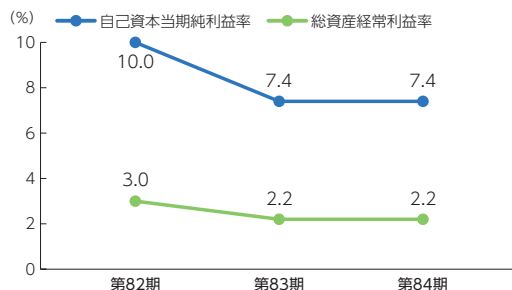
純資産

当期純利益による株主資本の増加およびその他の包括利益累計額の増加により、前期末比1,792百万円の増加

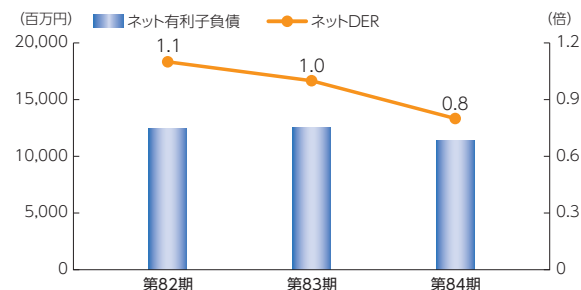
純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



自己資本当期純利益率(%)／総資産経常利益率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)

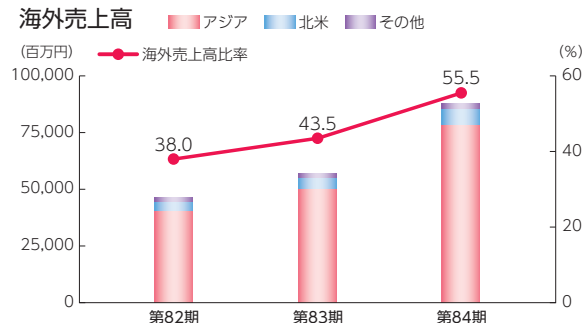


## 連結損益計算書(要旨)

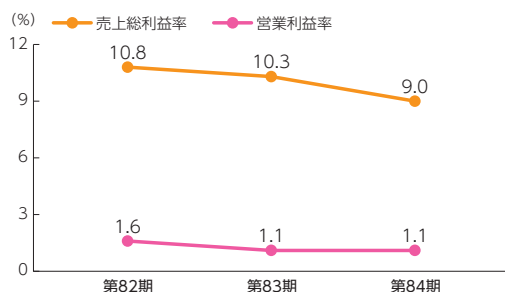
(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
<b>売上高</b>	<b>158,495</b>	<b>130,686</b>
売上原価	144,248	117,214
<b>売上総利益</b>	<b>14,246</b>	<b>13,471</b>
販売費及び一般管理費	12,579	12,012
<b>営業利益</b>	<b>1,666</b>	<b>1,458</b>
営業外収益	278	405
営業外費用	574	572
<b>経常利益</b>	<b>1,371</b>	<b>1,290</b>
特別利益	8	25
特別損失	114	98
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,265</b>	<b>1,217</b>
法人税等合計	240	300
少数株主利益	0	0
<b>当期純利益</b>	<b>1,024</b>	<b>916</b>

## 海外売上高



## 売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>1,494</b>	<b>711</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	△279	△514
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,462	△802
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>8,130</b>	<b>7,970</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益等により、1,494百万円の増加

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

貸付による支出等により、279百万円の減少

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済等により、1,462百万円の減少

## 会社概要

### 会社の概要 (平成26年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	592名(連結)		
拠点	国内 8ヶ所	海外	15ヶ所
連結子会社	国内 7社	海外	6社
ホームページ	<a href="http://www.gsi.co.jp">http://www.gsi.co.jp</a>		

### 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

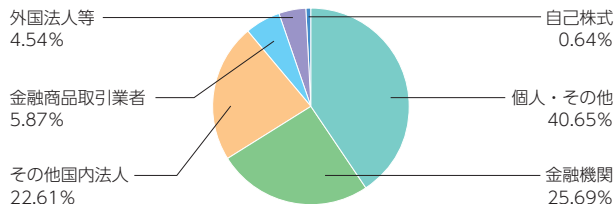
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式413,027株を含む)
株主数	6,253名

#### 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.51
株式会社みずほ銀行	3,182	4.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.94
日本生命保険相互会社	2,457	3.83
東レ株式会社	1,982	3.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,531	2.38
日本興亜損害保険株式会社	1,041	1.62
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	917	1.43
日本証券金融株式会社	688	1.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	574	0.89

(注) 持株比率については、自己株式(413,027株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

#### 株主構成(所有者別株式数の割合)



### 役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役 取締役社長	中島 浩二	取締役	荒木 靖司
常務取締役	宮崎 満	取締役	富田 正憲
常務取締役	松下 康彦	取締役	新美 一夫
常務取締役	吉永 直明	常勤監査役	浅野 幹雄
取締役	田中 正道	監査役	石川 均
取締役	中山 正輝	社外監査役	岩田 紀治
		社外監査役	金井 博芳

### 株主メモ

証券コード 8101

上場証券取引所 東京

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金  
受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告  
当社のホームページに掲載いたします。  
公告掲載アドレス <http://www.gsi.co.jp/ir/notice>  
(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

